

広報

ろくのへ



健康な“歯”いつまでも！



(むし歯のない3歳児表彰者)
関連記事は10・11ページ

ホームページアドレス▶<http://www.town.rokunohe.aomori.jp>
携帯電話用▶<http://www.town.rokunohe.aomori.jp/k.htm>
Lモード用▶<http://www.town.rokunohe.aomori.jp/lmode.htm>

CONTENTS ● 目次 ●

第二次六戸町行政改革大綱が策定されました	2~4
かえでのまちのできごと	5~7
図書館ホットニュース・鄧さんがんばる！	8
交通安全協会に入会しましょう！	9
保健師しおりの健康講座	10~11
平成18年度なかよし会(学童保育)入所児童募集について	12
六戸消防署からのお知らせ・国民年金からのお知らせ	13
インフォメーション・お知らせ	14~15
十和田警察署からのお知らせ メイプルパトロール	16
3月・4月カレンダー	17

2006
MAR 3
NO.487

第二次六戸町行政改革大綱

～自主・自立のまちを目指して～

平成18年度～平成22年度（5カ年）

地方分権の推進や、地方交付税の削減や税源移譲を目的とした三位一体の改革など、我が国をめぐる構造改革の推進や、少子高齢化の急速な進展など、社会経済情勢の変化により、地方公共団体は、自己決定、自己責任、自己統治の原則で、住民と共に自主的、自立的なまちづくりを推進することが求められています。

このような背景の下、当町においても、これまで健全な財政運営を目指し、他市町村に先行して数々の行政改革に取り組んでまいりましたが、当面「単独町政」で歩むことを目指すことから、行政サービス、行政運営の再構築のため平成17年度を新たな行政改革の出発点と位置づけました。

町民有識者による行政改革懇談会の答申に基づき、このほど、第二次六戸町行政改革大綱を策定いたしました。懇談会委員の皆さまにおかれましては、ご多忙の折にもかかわらず、町の行政と将来について、町民の視点から真摯にご協議いただきまして、誠に感謝しております。

全職員参加による事務事業の見直しでは、無理と無駄の総点検を実施し、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう取り組んだものであり、また、公共サービスを行政が全てを担い供給するこれまでのあり方は、限界があり非効率적でもあります。

町民、地域と町は、「自助・共助・公助」を基調に、協働によるまちづくりを進めることが不可欠となっております。

改革の基本方針

(1) 自主自立の行政運営の展開

地方分権、少子高齢化の一層の進展、三位一体の改革等社会情勢の変化の中で、町の自主性、自立性を高めるためには、財政の健全化が必須となります。そのためには、今後の歳入不足に対応するため、歳入の確保と並行し、歳出削減を図るための事務事業の総点検、無理無駄を排除しメリハリのある予算で、限りある人材、財源をまちづくりの中核的な事業に集中的に配分し効率化、効果的に運営してまいります。

(2) 住民と行政との協働連携

今日、健康、福祉、教育、環境、防災、まちづくり等、多様化する公共サービスを行政が全てを担い供給することは、人材、財源的にも不可能であると共に、必ずしも効率的ではありません。町民、地域、公益団体、事業者及び町は、自助、共助、公助（補完性の原則）をもとに、互いの主体性及び自主性を尊重し、対等な立場で協働によるまちづくりの推進に努めてまいります。

(3) 職員の意識改革と能力開発

職員も、これまでの前例踏襲、慣行等の古い体質から脱却し、公務員としての使命感、知識、能力、態度以外に、成果重視、コスト意識の経営感覚を身につけ、住民と共に考え、まちづくりに住民と共に挑戦することが必要であります。

ります。

今後、本大綱に基づき、実効ある改革とするため、実施段階において、達成すべき時期と数値目標を設定し、継続的な改善、見直しを不断に行ってまいります。

六戸町は、みどりの豊かな自然環境に恵まれ、また、交通の要衝として、これら町の良さ、特色を十分に活かす、六戸町に住んで良かったと実感できるまちづくり、個性豊かで安心して暮らせる安全なまちづくりを目指してまいります。

従来にも増して、町の発展と町民の幸せ実現のため、職員一丸となって努力してまいりますので、町民の皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

六戸町長 吉田 豊

町の財政状況と新たな改革の必要性

当町では、平成8年に策定した「行政改革大綱」に基づき、これまで行政改革に取り組んでまいりました。

財政面では、行政改革を推進する中で、必要な諸施策を実施しながら一般家庭の預貯金にあたる財政調整基金、長期借入金返済等に備えるの減債基金など一定額を確保するなど、財政の健全化に最も注意を払ってまいりました。

また、長期借入金償還の平準化を図るため、平成13・14年度の2カ年度で5億円の繰り上げ償還を行っております。

しかしながら、国が進めている三位一体改革の中で、地方公共団体への税源移譲が不確定な上に、地方交付税制度の改革により、町財政の根幹をなす地方交付税が減少するなど厳しい状況にあります。

また、町は、当面「単独町政」運営を決定いたしました。将来の六戸町の発展を見据えた施策の実施に向けての財政基盤の確立、行政需要の量・質の変化、厳しい財政状況に的確に対応し、住民と共に自主的、自立的な行政運営を維持、発展させるためには、より一層の行政改革を推進する必要があります。

本大綱は、町民各界各層からなる行政改革懇談会の意見を踏まえて、今後の本町の行政改革の方針、課題等を示すもので、これに基づき具体的な改革「取り組むこと」がなされます。

財政シミュレーションの策定

(4ページ参照)

今回、町では今後の堅実な財政運営のために、改革内容(3ページ)を盛り込んだ平成18～22年度の歳入・歳出見通しの財政シミュレーションを策定しました。

改革のための具体的取り組み内容

1 事務事業の見直し

(1) 全事務事業の見直し評価

平成17年度の全事務事業の見直し点検は、日常担当する全職員が参加し、課単位で、必要性、重要性、妥当性、効果性、効率性、迅速性等の観点から見直し総点検を進めました。

- ・住民サービスを配慮しながら計画的な職員の削減（人件費の減）
- ・特別職の見直し
- ・行政評価システムの導入と事業の目標設定管理の導入
- ・審議会等各種委員組織の簡素化、見直し
- ・各行事（町民運動会等）の見直し
- ・学校再編の検討

平成18年度以降の予算編成においては、この事務事業見直し点検結果及び改革実行計画書を基本に、行政改革懇談会等の意見を踏まえながら精査し、一律削減ではなく、住民サービスの維持及び向上につながるよう、町民の目線に立った施策への重点配分に努め、メリハリをつけた予算とします。

(2) 補助金・負担金の見直し

補助金・負担金についても一律削減することなく、住民ニーズへの対応や施策的に必要なものは新設及び拡充するなど、メリハリをつけたものとし、今後とも、継続した見直しにより、補助金・負担金の適正な執行に努めます。

(3) 堅実な財政運営の健全化

協働による自主、自立を目指すまちづくりを推進するため、限られた財源を様々なニーズへの対応に迅速、かつ、的確に配分しながら、持続可能な財政運営に努めます。

- ・適正な受益者負担の検討
- ・使用料及び窓口手数料等の見直し
- ・経常経費の節減
- ・義務的経費の抑制
- ・補助金・負担金の見直し徹底
- ・公共工事の見直しによるコストの縮減
- ・広報・町民バス等公共物への有料広告掲載の検討

(4) 住民参加、協働による行政の推進

行政を取り巻く環境が常に変化し続ける中で、行政のみによる公共サービスの供給は、もはや限界にきています。これからは個人ができることはまず個人が行い、できない部分を地域や民間が補完し、さらに地域や民間でできないことを公共が補完していくという役割分担をもち、それぞれの長所・機能を最大限發揮し、互いの主体性及び自主性を尊重し、行政と住民との対話（相互理解）を図りながら、対等な立場で協働によるまちづくりに取り組むことが必要となります。

なお、ふれあいの郷づくりの事業や町民バスの運行等については、町民福祉の観点から引き続き事業を継続し、充実させていきます。

2 組織機構の見直し整備

地方分権や少子高齢化の進展、三位一体の改革及び多様化する住民ニーズの確保に際しては、既存の組織機構について、従来のあり方にとらわれることなく、時代の変化に即して事務事業を円滑に遂行できるよう柔軟で、より簡素で効率的な組織機構の整備を図ることが必要であります。

組織機構の見直しにあたっては、①住民にわかりやすい組織づくり、②住民ニーズに対応できる組織づくり、③簡素で効率的な組織づくりの観点から進めます。

3 公共施設管理運営の合理化

これまで、町の施設の管理運営については、最少の「コスト」による維持管理運営を目指し、各種業務委託等により経費の削減を図ってまいりましたが、今後、多様化する住民ニーズや公益・公共性の確保の観点から、より効果的かつ効率的な対応をするため、一部施設へ指定管理者制度の導入を図り、住民サービスの向上と経費の節減等民間の能力が活用できないか、旧学校施設や公共施設全般の有効活用を検討します。

4 職員の定員管理等の適正化

(1) 職員数の適正化

町では、これまで二度にわたる定員

管理計画を策定し、計画的に職員数を削減しつつ、O/A化の推進等により職員を増やすことなく新たな業務拡大に対応してきました。今後、抜本的な職員数の見直しによる総人件費の抑制や計画的に職員数の適正化に努めていく必要があります。そのため、退職者の補充を最小限にとどめる等、新たな定員管理計画を策定し、平成18年度から平成22年度までの5年間で、現在H17・4（の総職員数130人）を、5年後の平成22年度には、117人（10%削減、13人）を目標とするなど、さらなる計画的な定員管理を進めます。

このため組織・機構の再編、臨時職員・嘱託職員等の人材活用、業務の民間委託等を推進します。

(2) 適正な給与・報酬

町では、これまで、職員数の削減・時間外手当の削減、特殊勤務手当の見直しなど、人件費の抑制に努めてまいりましたが、平成16年度普通・特別会計決算における人件費の状況は、約8億5千万円（17・8%）という高い水準にあります。

これは、職員の高齢化と、人員の数によるところが大きいと考えられますが、更なる人件費抑制のため、職員数の適正化を図るとともに、人事評価制度に基づく給与制度のあり方についても検討します。

5 職員の能力開発の推進

「六戸町職員人材育成基本方針」に基づく効果的、計画的な研修や、現行

の人事評価制度を見直し、職員能力の開発や、処遇、人事異動に役立てます。業績評価や能力開発には、職務上でのような目標を、どこまで達成し、どれだけの成果を挙げたかを評価し、次へフィードバックする目標管理制度の導入について検討します。

実効ある改革のために

1 行財政改革実行計画

本大綱に基づき、平成18年度から平成22年度までの5年間の取り組み項目を策定し、計画的に行財政改革の実現化を図ります。

なお、実行計画には、各改革項目の主幹課はもとより、実行年度や、可能な限りの数値目標を掲げて、取り組みの実現性を担保します。

2 推進体制

行財政改革を着実に推進するため、庁内組織である行財政改革推進委員会（仮称）において、また、町民有識者を構成員とする行政改革懇談会等で進捗管理を行い、議会にも報告することとします。

さらに、行財政改革の進捗状況は、議会及び住民の皆様にも適時報告し、住民の視点から意見を求めることも、町広報や、町ホームページ等により町民に公表していきます。

六戸町財政シミュレーション (平成18年度～平成22年度)

(単位：千円)

歳入	H16 決算額	H17決算 見込額	H18	H19	H20	H21	H22	5カ年計
町税	936,464	950,000	951,707	946,707	948,707	950,707	952,707	4,750,535
地方譲与税等(※1)	116,688	137,000	138,831	138,831	138,831	138,831	138,831	694,155
交付金等(※2)	176,091	164,000	166,740	166,740	166,740	166,740	166,740	833,700
地方交付税(※3)	2,075,017	2,006,600	1,960,000	2,085,000	2,023,000	1,963,000	1,904,000	9,935,000
分担金及び負担金	73,465	71,000	70,259	70,073	70,061	69,890	69,874	350,157
使用料及び手数料	34,280	35,300	36,329	37,717	39,171	39,073	40,532	192,822
国・県支出金	660,762	640,000	607,969	636,120	647,778	646,427	692,525	3,230,819
財産収入等(※4)	4,063	1,450	1,542	1,543	1,543	1,543	1,543	7,714
繰入金	112,416	169,023	15,988	34,437	60,710	128,590	235,654	475,379
内、学校建設基金	0	0	0	10,000	24,000	58,000	130,000	222,000
諸収入等(※5)	176,340	142,000	56,977	55,801	53,720	53,051	54,227	273,776
町債	611,900	473,000	387,600	189,400	210,100	246,800	261,400	1,295,300
内、臨時財政対策債	247,800	192,000	190,000					
歳入合計	4,977,486	4,789,373	4,393,942	4,362,369	4,360,361	4,404,652	4,518,033	22,039,357
歳出	H16 決算額	H17決算 見込額	H18	H19	H20	H21	H22	5カ年計
人件費	851,166	850,000	849,799	785,647	758,952	746,588	728,695	3,869,681
物件費	589,558	586,000	585,000	584,000	583,000	582,000	581,000	2,915,000
維持補修費	53,358	35,000	43,211	46,250	45,971	44,386	44,616	224,434
扶助費	504,112	516,000	515,271	515,735	517,014	517,136	519,272	2,584,428
補助費等	673,962	635,000	618,245	625,875	622,123	622,188	622,126	3,110,557
普通建設事業費等	637,810	765,000	453,224	461,729	493,656	555,676	724,165	2,688,450
災害復旧事業費	7,691	0	30	30	30	30	30	150
公債費	670,539	580,000	595,562	608,572	608,936	619,509	603,596	3,036,175
積立金	111,747	151,273	61,130	61,080	41,040	21,000	940	185,190
内、学校建設基金		50,000	60,000	60,000	40,000	20,000	0	180,000
投資及び出資金	39,717	16,100	11,948	8,823	17,844	18,198	9,127	65,940
貸付金		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
繰出金	639,736	650,000	655,522	659,628	666,795	672,941	679,466	3,334,352
歳出合計	4,779,396	4,789,373	4,393,942	4,362,369	4,360,361	4,404,652	4,518,033	22,039,357

※1 所得譲与税、自動車重量譲与税、地方道路譲与税

※2 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

※3 普通交付税、特別交付税

※4 財産収入、寄付金

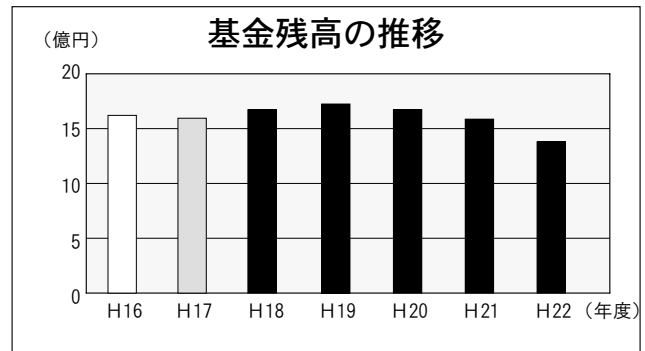
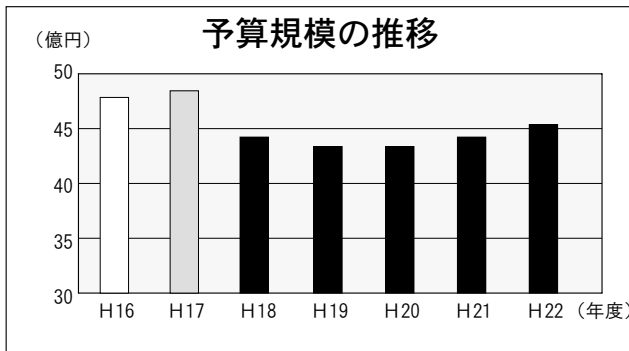
※5 繰越金、諸収入

○本シミュレーションは、予算要求に準じ、各担当課による5カ年の事業費要求により積み上げたものをベースとして推計したものであります。ただし、各担当課の要求に当たっては、決算ベースを念頭に推計することを原則としました。

○主要事業として、学校建設事業（H19～H22、総事業費682,250千円）を位置づけています。

○国が進める三位一体改革における税源移譲分の歳入については、現時点では不透明な部分が多いことから、計上しておりません。

○本シミュレーションは平成17年11月末日現在で作成しております。



六戸町の行財政の見通し

歳入については、地方交付税のますますの減額が予想されており、5年後の平成22年度には3億円程度目減りする見通しです。

歳出については、大きな事業として学校建設事業に取り組むこととしており、平成19年度から平成22年度までの4カ年において総額682,250千円を計上しております。また、老朽化による各施設等の修繕、更新についても、経費の平準化を考慮し、計画的に行っていくこととしております。一方、少子高齢化に伴い扶助費や医療給付費が増加して行く中で、機構改革による事務の合理化や新採用者抑制、また外部委託等に取組むと共に、住民生活に直結する部分の経費を最優先に、費用対効果を精査

し、各事業等の見直しを推し進め、人件費、物件費等の支出を更に圧縮していく方針で推計しており、学校建設事業の経費に対しては、H17年度に創設する「六戸町学校建設基金」を計画的に積立て備えていくこととしております。また、本シミュレーションには加味しておりませんが、今後においては三位一体改革による税源移譲分の税収や新幹線開業に係る固定資産税等の増収も見込めるものと思っております。

六戸町は今後、行財政に係る情報等をしっかりと把握しながら、身の丈にあった財政運営をしていくことで十分に単独での行財政運営が可能であるという見通しであります。

平成17年度六戸町芸術・文化賞 体育・スポーツ賞合同表彰式

2月14日(火)、町文化ホールにおいて平成17年度六戸町芸術・文化賞、体育・スポーツ賞合同表彰式が開催され、芸術・文化、体育・スポーツにおいて貢献もしくは活躍した方々が表彰されました。

【芸術・文化賞】部門

〈文化賞〉

竹内 秀吉 (折茂今熊神楽保存会)

〈文化奨励賞〉

長嶺 恵

(三沢商業高等学校フープロ部)

保土沢正志 (六戸町芸能愛好会)

六戸高等学校出版委員会

【体育・スポーツ賞】部門

〈スポーツ指導者賞〉

小山 陸

(六戸町グラウンド・ゴルフ協会)

〈優秀選手賞 個人の部〉

新山さなえ

(三沢高等学校サッカー部)

松村 美樹

(三沢高等学校サッカー部)

安藤 啓太

(光星学院高等学校レスリング部)

中村 静香

(二本木高等学校弓道部)

高橋 佳子

(二本木農業高等学校馬術部)

山本 陽一

(二本木農業高等学校アーチェリー部)

高山藍鶴志

(三本木農業高等学校ラグビーフットボール部)

附田 高徳

(三本木農業高等学校ラグビーフットボール部)

瀬川 絵美

(八戸聖ウルスラ学院高等学校ソフトボール部)

十文字智美

(八戸聖ウルスラ学院高等学校ソフトボール部)

砂渡栄里香

(八戸聖ウルスラ学院高等学校ソフトボール部)

吉本 圭翼

(八戸商業高等学校スケート部)

坂本 恒樹

(八戸南高等学校陸上部)

米沢 達重 (六戸町陸上協会)

〈優秀選手賞 団体の部〉

六戸高等学校ゴルフ部(女子)

・小林はるか ・佐藤真奈美

・森 詩織 ・馬場 千明

・三浦 久子 ・吉田 斐子

〈スポーツ奨励賞 個人の部〉

川村 真琴

(千葉学園高等学校ソフトボール部)

高坂 絵美

(千葉学園高等学校ソフトボール部)

山本 碧

(三本木高等学校ソフトボール部)

苔米地美賀子

(三本木高等学校ソフトボール部)

田子 春奈

(三本木高等学校ソフトボール部)

長嶺 弥空

(三本木高等学校ソフトボール部)

塩見 菜葉

(二本木高等学校ソフトボール部)

山端 悦子

(三本木農業高等学校陸上部)

吉本 崇哉

(八戸商業高等学校スケート部)

小山 アイ

(六戸町グラウンド・ゴルフ協会)

竹中 裕人

(六戸町グラウンド・ゴルフ協会)

〈スポーツ奨励賞 団体の部〉

六戸町グラウンド・ゴルフ協会

・奥寺 文夫 ・加藤 堅造

・小山 陸 ・平舘 信一

・竹中 裕人 ・前川原正顕



▶代表して謝辞を述べる

竹内秀吉さん



▲スポーツ奨励賞受賞の六戸町グラウンドゴルフ協会

みんなでつくった “なべっこ団子”おいしいね!

このほど、町の生活改善グループが山の子保育園を訪問し、園児と一緒に“なべっこ団子”作りをしました。

この訪問は、昔ながらの食生活に触れて、次世代を担う子ども達に伝統的な良い食生活を伝えるのを目的として、毎年、生活改善グループが行っています。この日、なべっこ団子作りを行ったのは、園児14名。園児らは、生活改善グループのメンバーから手ほどきを受けながら満面の笑みを浮かべてなべっこ団子作りをしていました。



▶団子づくりを楽しむ園児たち

その後、園児らはおはじきやお手玉などゲームをしたり、一緒に作ったなべっこ団子を試食し、楽しいひと時を過ごしました。

平成17年度六戸町 生き生き健康推進大会

＝第10回六戸町社会福祉大会＝

2月16日、町文化ホールにおいて、平成17年度六戸町生き生き健康推進大会、第10回六戸町社会福祉大会が開催され、約150名が参加しました。



▲むし歯のない3歳児表彰の様子

大会では健康づくり推進に貢献された方々の表彰が行われました。その後、吉田豊町長は「町民の方々全員が、生涯にわたる心身ともに健康で暮らせるよう基盤作りをし、健康づくりを推進していきたい」とあいさつ。続いて、町健康づくり推進協議会会長の盛田嘉彦氏が健康づくりの宣言をしました。

その後、講師に秋田県藤里町曹洞宗月宗寺住職「心といのちを考える会」会長の袴田俊英氏を迎え、「地域で考えよう、心の健康づくり」と題して講演が行われ、来場者は健康づくりの推進への意識を新たにしました。

六戸町教育奨励賞

このほど、町就業改善センターにおいて六戸町教育奨励賞表彰式が行われました。文化の部で10個人1団体、スポーツの部で9個人11団体が受賞し、田中泰邦教育長から表彰されました。



▲日頃の成果が認められた受賞者

受賞者について
 文化の部
 個人11長嶺芽生、小向蓮、竹内莉緒奈、川村佳生、折

館佑大、小倉美加(以上折茂小)木村亜美(開知小)川村千里、岡田奈津希(以上六戸中)武田梨江(七百中)
 団体11七百中学校吹奏楽部
 <スポーツの部>
 個人11円子湧人(六戸小)杉山昂星、蛭名安海(以上開知小)柴田直弥(大曲小)円子政範(六戸中)沖沢優貴、石川真都香、長根有望、赤坂裕香里(以上七百中)
 団体11開知小学校女子陸上、六戸サッカー少年団、六戸中学校野球部・卓球部・ソフトボール部・テニス部・相撲部、七百中学校野球部・ソフトボール部・陸上競技部

人権擁護委員 石井妙雄さん(七百) たいへんお疲れ様でした

1月27日、法務局十和田支局より鳴海支局長ほか3名が役場を訪れ、石井妙雄さんに人権擁護委員の退職に伴う法務大臣感謝状の伝達が行われました。

石井さんは、平成5年9月より約12年3ヶ月の間、人権擁護委員として人権に係る相談や啓発活動等にご活躍いただきました。



▶感謝状を受ける石井妙雄さん(左)

第19回犬落瀬東地区 健康づくり室内スポーツ大会

2月12日、町総合体育館で第19回犬落瀬東地区健康づくり室内スポーツ大会が行われました。

大会には4チーム約120名が参加。

子どもからお年寄りまでチーム一丸とな

り競い、そして交流を楽しみました。

なお、大会結果は次のとおりです。

優勝 館野

準優勝 林・高見・柴山

3位 押込

4位 下町



▲スポーツを楽しむ参加者

春に向けて！営農講座開催

このほど、町就業改善センターにて六戸町営農講座から講座開催され、計370名の農業者の方々が参加しました。

5回の講座は、天気予報、野菜の栽培や農業についてなど、どれも農業には欠かせない重要な内容。参加者は、春からの農業に向けて真剣に話を聞き入っていました。

▶会場の様子



東京「六戸会」たより

東京六戸会総会報告

68

皆ごん全員の自己紹介をしていただきました。特に今回は40歳前後の方々で、

東京で活躍されている若い仲間のお話を聞くことができ、とても心強く頼もしく感じました。

大きな円卓を四力所設けた会場で席順は定めず、宴が進むにつれ、皆さんそれぞれのテーブルを廻りながら和気あいあい、故郷の思い出や近況にと花を咲かせて賑わいました。

◎東京六戸会事務局
〒120-0001
東京都足立区中央本町
田中ワカ子(六戸中36年度卒)
TEL 03-3840-7147
1-18-18

新春のおだやかに晴れた去る一月二十九日、ホテルグランドヒル市ヶ谷で、第8回東京六戸会総会及び懇親会が開催されました。

六戸町からは吉田豊町長と山内一哉さんが駆けつけてくださり、合計34名の出席者となりました。

懇親会に先立ち、まずは平成17年度の総会が開催され、以下の議案が審議されました。

一、平成17年度事業報告並びに平成18年度事業計画について

二、平成17年度決算報告・監査並びに予算について

三、役員及び事務局の紹介

四、その他

議案一については前年度に引き続き、「六戸町関連事業への参加及び情報提供」「総会・交流会などの開催」。また、「広報3へのへ」への月報掲載が60回を超えたこと、継続することの苦勞の一端と会員各位への協力要請も含め大澤理事よりの報告がありました。

今年度の懇親会では出席者の



今年度も沢山の方々に図書館を利用いただきました。利用者サービスとして、県内外の図書館にアクセスし読みたい本を取り寄せての貸出しや、県立図書館の児童図書の一括貸出、電話による予約サービス、読み聞かせボランティアの皆さんによる、各小学校での「読み聞かせ」実施(朝の読書の時間)、旧苔米地家でのお話会、町の3歳児検診等でのブックトーク等、最近では社会教育課の「子どもの居場所づくり事業」での読み聞かせなど、積極的に活動してきました。

◎児童図書の部

- 3 信州飯田殺人奔流
- 4 青い国から来た殺人者
- 5 今会いにゆきます
- 6 駆けこみ交番
- 7 日暮りし
- 8 コイノカオリ
- 9 十津川警部「生命」
- 10 キッパリ

◎多読者ベスト(一般)

- 1 ハウルの動く城
- 2 ポプラこどもずかん
- 3 はらぺこあおむし
- 4 バムとケロのおかいもの
- 5 なぞなぞ1年2年

◎多読者ベスト(児童)

- 1 佐藤 瑞希(400冊)
- 2 松村 朋香(126冊)
- 3 長嶺 慶大(83冊)
- 4 山内 沙紀(79冊)
- 5 吉本 七海(74冊)

★図書寄贈者紹介

(17年10月から18年3月まで)

- ・小村剛史
- (野口英世伝他10冊)
- ・五十嵐健二(小説等4冊)
- ・川分顕蔵
- (週間世界遺産等351冊)
- ・今出川弘(小説等19冊)
- ・馬場信行(文庫本等4冊)

★17年当館のベストテンのお知らせ

- ◎一般図書の部
- 1 駱のゆく夏
- 2 チャンプムの誓い

- ・杉山武夫(文学全集等103冊)
- ・川村朋枝(文庫本等15冊)
- ・吉田光朝
- (日本の建造物等20冊)
- (当館に同じ図書がある場合、寄贈冊数に含まれておりません。寄贈有難うございました。)

★この度、小村剛史様(六戸町出身)から貴重な図書寄贈がありました。時の人、紀宮清子(黒田)様が研究された「ジョン・グールド鳥類図譜総覧」です。紀宮様が山階鳥類研究所や皇居等で研究されたものです。特設コーナーに展示しております。

★年度末図書館臨時休館のお知らせ

3月31日(金)は年度末図書整理の為、臨時休館となります。利用者の皆様には、ご不便をお掛け致しますが、ご協力させていただきますようお願いいたします。

「新刊紹介」

〈一般図書〉

- *世界の宗教1001の謎
- *日本なんでも年表
- *上北・下北の歴史
- *八戸・三戸の歴史
- *人間動物園
- *フリータの乾いた独り言
- *こまった人
- *怪談レストラン

とうとう 鄧さんがんばる!



「講座にて中国歌」

皆さん、こんにちは。鄧仁有です。

今年度の中国講座も残りわずかになってきました。第15回目の講座は、「中国語で歌おう」というテーマで学習しました。当初、中国でも有名な自分も歌える「北国の春」を歌うことしか考えていませんでした。しかし、日程が迫ってきて受講生の皆さんにどんな曲がいいのか聞いたところ、「本場の中国の歌はいいですよ」との意見がありました。

この歌の特別なところは、梁祝」という有名な協奏曲を使用しています。「梁祝」とは、梁山伯と祝英台の二人の名前の略称です。自国の家にもピアノ協奏曲のCDがあり、その中にも「梁祝」という中国の一曲が入っています。どなたが弾いた協奏曲かという中国語で「理查德・克萊徳曼」と書いて見せたら、事務室の皆さんは目をかじりましたが、私が中国語で言う「皆さんがやっと分かりました。日本語では「リチャード・クレーダーマン」のことです。同じ人名でも国によって表記の仕方が違いますね。

この梁山伯と祝英台はいったいどんな人物だったのでしょうか。

この歌を深く理解するために、事前に物語や歌詞について資料を作成し、貸してくれたCDを再三聞きました。カラオケのように大きい声を出してよく練習しました。本番の講座の時に歌詞に關するストーリーについて皆さんに紹介しました。短時間だけと皆さんは一生懸命に聞いてくれて、発音練習のために繰り返し歌いました。

歌を歌うことも外国語を覚える一つのいい方法だと思います。私もこの歌の講座のために資料を調べたり、CDを聞いたりして大変、勉強になりました。もうすぐ春です。皆さん、風邪を引かないよう気をつけてください。それではまた会いませう。

異国探検記PART2

CDはすべて中国へ旅行したとき、直接購入したものです。多くの歌の中から今度は何れを選んだらよいか、またも悩んでしまいました。よく見ると、その中に中国の有名な張也歌手の「化蝶」という歌が入っていました。これは中国の代表的な歌謡で、この歌の曲にしても、歌詞の内容にしても中国では知らない人はほとんどいないほど有名な歌で、最終的にはこの歌を歌うことになりました。

交通安全協会に入会しましょう！

交通安全協会は、皆様とともに交通事故ゼロを目指して、安全運動を推進している団体です。

【会員になると…】

- 免許証を書き換えるとき……………「更新申請書」を無料で作成します。
- 免許証を紛失（汚損）したとき……………「再交付申請書」を無料で作成します。
- 免許内容が変わったとき……………「変更届出書」を無料で作成します。
 - （1）引越などで住所が変わったとき *必要なもの：新住所が確認できるもの（保険証、郵便物等）
 - （2）結婚などで氏名・本籍が変わったとき *必要なもの：本籍地記載の住民票

- 交通死亡事故共済があります。
- 優良運転者の上申と表彰を行います。
- その他



会員の皆様に納めていただく会費の一部は、皆さんがお住まいの町交通安全協会に交付され、交通安全運動費（交通安全旗の購入等）として活用されております。

☒問い合わせ：十和田地区交通安全協会（十和田警察署北側）
〒034-0085 十和田市西五番町21-11 ☎22-0213

六戸町にお住まいの 十和田地区交通安全協会会員の皆様へ

優良運転者表彰の申請を受付しております！

平成18年3月末日現在で、5年～50年間（5年ごと）無事故・無違反の期間に応じて該当する優良運転者の表彰を行いますので、下記要領により申請されますようご案内申し上げます。（同じ期間の表彰を受けていないこと）

記

- ◎申請する場所 ◆六戸町役場 町民課
- ◎申請に必要なもの ◆運転免許証と印鑑（みとめ印で結構です）
- ◎申請受付期限 ◆平成18年3月31日（金）まで
- ◎表 彰 式 ◆十和田地区交通安全協会（十和田市と六戸町合同）で、平成18年5月下旬に行う予定です。

※申請された方で表彰の対象となった方には、直接十和田地区交通安全協会よりご案内の手紙（ハガキ）が送られます。

問合せ先／六戸町交通安全協会事務局
町民課 担当 田中 洋
☎55-3111（内線125）

保健師 しおりの 健康講座

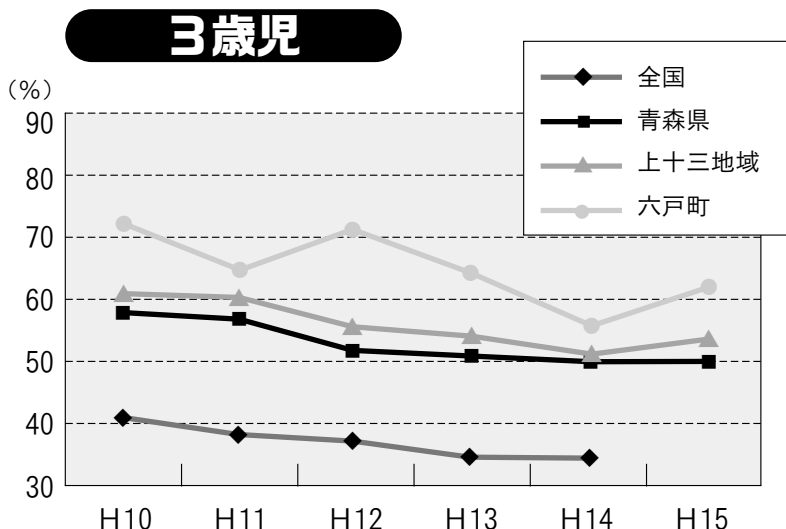
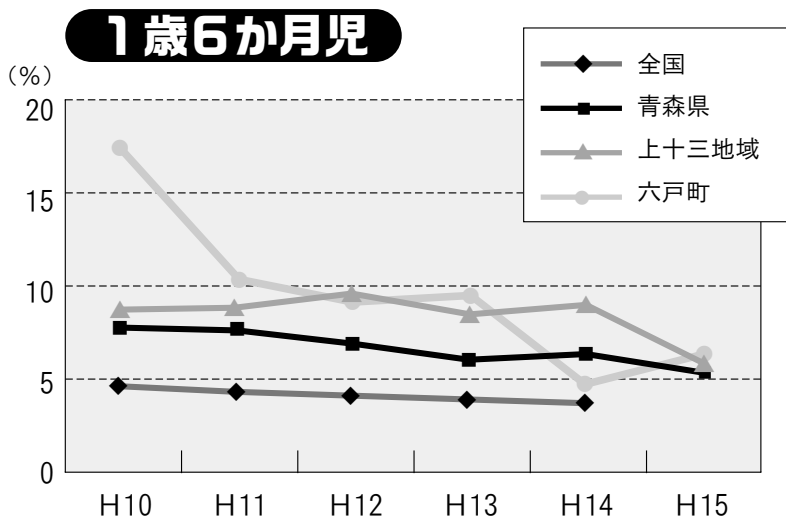


“今月は
「家族みんなで
むし歯予防!!」
です”

毎年、2月に『生き生き健康推進大会』という行事を開催しています。

これは、日頃からいろいろな形で健康づくりをがんばって実践している方々を表彰するものです。その中で、今年も、むし歯のない3歳児として合計30名のお子さんが選ばれ、そのうち、表彰式当日には20名のお子さんとそのお父さん、お母さん、おばあちゃん等ご家族で参加してくださいました。(詳しくは表紙と6ページをご覧ください)

むし歯にかかっている子の割合 ～全国・県・上十三地域との比較～



(上北健康福祉子どもセンター保健部ホームページより抜粋)

六戸町の幼児期のお子さん
昨年度までは、お母さんのお腹の中にいる時から既にお子さんの歯の健康づくりが始まり、生まれた後も引き続きむし歯予防をがんばって欲しいという目的から、お子さんとそのお母さんとをペアとして表彰の対象としてきました。しかし、なかなか表彰される親子が少ないという現状がありました。

にむし歯が多いのはご存知でしょうか。むし歯になっている1歳6か月児、3歳児の割合は、県や全国と比べていつも高い傾向にあります。(クニツ参考)
表彰される親子が少ないのは、お子さん自身が3歳児健診時には既にむし歯になっている場合が結構多いこと、それに加え、お母さんの歯の状態もなかなか条件をクリアできないこと

が関係あるようでした。でも、お子さんのむし歯予防は、お母さんだけでなく、お父さん、そしておじいちゃんやおばあちゃんを含め家族みんなで一緒に取り組まなければ難しいと思います。お子さん自身はもちろん、お母さんお父さんも歯みがきをがんばるだけでなく、おじいちゃんおばあちゃんもおやつのおげ方(量・内容・時間を決める

等)を工夫する等家族みんなの協力が必要になってくるんですね。
ということで、今年からはお子さんを主役とした、家族ぐるみの歯の健康づくりということで、お子さんのみを対象とするということになりました。
3歳児健診でむし歯ゼロを達成し、表彰式を目指してみませんか？

むし歯をつくらないよう、家族ぐるみで がんばってみましょう！

ほめられるのは誰でもうれしいものですね。

小さい頃からそういう機会にたくさんめぐり合って、「うれしいな」「これからもまたがんばろう」という気持ちを、お子さん自身が持つきっかけになったらと思っています。

そして、1人でも多くのお子さんが、毎年2月のこの生き生き健康推進大会で表彰されることを願っています。



今年表彰されたお子さんは、次のとおりです。

むし歯のない3歳児 表彰者

	地区名	名前		地区名	名前
1	金 矢	杉 山 紗枝子	16	小 松 ケ 丘	太 田 実 佑
2	入 口	円 子 幸 輝	17	館 野	馬 淵 光 里
3	上 町	佐々木 実 那	18	折 茂	上 野 紗理奈
4	高 館	砂 渡 心 那	19	南 町 (一)	畠 山 航 輝
5	上 吉 田	小山田 成 志	20	小 平 ・ 柳 町	田 中 大 陽
6	た て の 台	大 槻 紗 夕	21	館 野	竹ヶ原 綸 七
7	七 百	小 向 優 矢	22	小 松 ケ 丘	澤 井 大 翔
8	七 百	斎 藤 響	23	小 松 ケ 丘	成 田 雄 介
9	古 里	赤 坂 吏 玖	24	高 館	田 中 皐 暉
10	下 町	橋 本 珠 希	25	上 吉 田	長 谷 篤 志
11	上 吉 田	出 戸 茉 弥	26	中 町	田 中 捺 稀
12	金 矢	金 淵 蒼 那	27	小 平 ・ 柳 町	小 林 賢 世
13	小 平 ・ 柳 町	成 田 里 彩	28	館 野	田 中 紗 花
14	下 吉 田 (二)	円 子 貴 裕	29	ひばりヶ丘住宅	鈴 木 優 斗
15	中 町	宮 田 桜	30	小 松 ケ 丘	七 戸 翼

健康教室・健康相談の日程

月 日	時 間	内 容	場 所	担当保健師
3月 2日	9:30~12:00	健康相談(ふれあいサロン)	七百地区公民館	辻浦
3月 6日	13:30~15:30	健康教室(ぼけ予防のための手作業)	岡沼構造改善センター	三浦
3月 8日	10:00~12:00	健康相談(ふれあいサロン)	上吉田地区公民館	三浦
3月15日	10:00~12:00	健康相談(ふれあいサロン)	鶴喰公民館	佐々木
3月16日	13:30~15:00	健康教室(介護について)	沖山ふれあい館	三浦

3月の一般健康相談日

●一般健康相談

日時：3月7日(火)・28日(火)

9:30~11:00

場所：老人福祉センター

※忘れずに健康手帳をもってきましょう

平成18年度 なかよし会（学童保育） 入所児童募集について



1. 目的

なかよし会は、児童が学校から帰っても家庭に保護者がいない小学校の1年～3年を対象に、専任の指導員をおいて生活指導を行い、子供の健全育成を図ります。

2. 開設場所

- ・六戸児童館（六戸小学校区）
- ・折茂小学校校長住宅（折茂小学校区）
- ・七百児童館（開知小学校区・大曲小学校区）

3. 開設期間及び時間

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで開設しますが、小学校1年生は4月8日からの利用となります。

また、日曜・祝日、8月13日～16日までの間、12月27日～1月4日までの間は、休業とします。

時間は、下校時から午後6時まで行います。土曜日、夏休み、冬休み、春休み期間中は、午前8時から午後6時までとなります。児童の帰宅に関しては、原則として保護者の迎えを必要とします。（土曜日、夏休み、冬休み、春休み期間中は、送迎が必要）

*大曲小学校区の通所については、学校から学童保育所まではバスにて送致する予定です。

4. 定員

定員は、六戸小学校なかよし会 65名
折茂小学校なかよし会 25名
開知・大曲小学校なかよし会 35名

5. 対象者及び優先順位

対象者及び優先順位は次のとおりです。

- ①保護者の就労、疾病等のため、家庭において適切な保育を受けられない児童
- ②母子家庭、父子家庭及びこれに準ずる家庭の児童

6. 申請方法

申込書を3月24日（金）までに役場保健福祉課に提出してください。

（申込書は保健福祉課にあります。）

7. 費用

保育料は、1人5,500円/月です。

この保育料には、おやつ代も含まれます。

8. 問合せ先

保健福祉課

TEL 55-3111（内線135）

通行止め期間の延長

県営農村総合整備事業（集落排水路・犬落瀬）工事の工期変更に伴い、町道の通行止め期間の延長をいたします。皆様のご協力お願い致します。

※通行止め期間（延長後）
平成十八年四月十五日

■ 工事発注者／青森県上北地方農林水産事務所
■ 工事施工業者／上北建設株式会社
■ 問合せ先／建設下水道課 ☎ 55-3111（内線283）

↑至七百

↑至十和田市

←至十和田市

至八戸市→

国道45号線

通行止め区間

農協

六戸町役場

官庁街線



Information お知らせ

町長執務室行政ホットラインファックス 55-5555
メールアドレス mayor@town.rokunohe.aomori.jp

募集

学校給食センター 日日雇用職員募集

- 対象／昭和26年4月2日以降に生まれた方(普通運転免許所持者)
- 業務内容／一般調理員等業務(調理・洗浄及び清掃作業ほか)
- 募集人員／一人
- 勤務場所／十和田・六戸学校給食センター
- 勤務時間／原則として月々金曜日午前8時15分～午後5時まで
- 賃金／月額7,000円(月140,000円程度)
- ※社会保険・雇用保険加入
- 任用期間／平成18年4月1日～平成19年3月31日(必要に依り再任用あり)
- ※学期ごとの雇用となるため、雇用の中断があります。
- 面接試験／3月17日(金)午前9時30分 十和田市役所新館4階第4会議室
- 提出書類
 - ・履歴書(市販のものに顔写真貼付)
 - ・自動車運転免許証の写し
- 受付期間／3月1日～10日(土・日曜日を除く。午前8時15分～午後5時)
- ※郵送の場合は、封筒の表に「学校給食センター日日雇用職員申し込み」と朱書きし、〒034-8615(住所不要)十和田・六戸学校給食センターへ。(3月10日必着)
- 申込・問合せ先／十和田・六戸学校給食センター ☎055375

税務職員募集

(大学卒業程度)

- 仙台国税局では、地元の大学に通っている方、首都圏からUターンして公務員を目指す方など、東北の風土に慣れ親しんだバイタリティーあふれる職員を募集しています。
- 今回募集を行うのは、試験内容が大学卒業程度の「国税専門官」です。
- 受験資格
 - 1 昭和54年4月2日から昭和60年4月1日生まれの者
 - 2 昭和60年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び平成19年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者
 - 受験申込受付期間／平成18年4月3日(月)から4月14日(金)まで
 - 受験申込書の請求／最寄りの税務署 仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局
 - 問合せ先／仙台国税局人事第二課 ☎022-263-1111 (内線3333)
- 人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施いたします。
- ・I種試験(大学卒業程度)

国家公務員 採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施いたします。

・I種試験(大学卒業程度)

- 試験日／4月30日(日)
- 受付期間／4月3日(月)～4月10日(月)
- ・II種試験(大学卒業程度)
- 試験日／6月18日(日)
- 受付期間／4月14日(金)～4月25日(火)
- ・III種試験(高校卒業程度)
- 試験日／9月3日(日)
- 受付期間／6月20日(火)～6月27日(火)

なお、申込用紙の請求や受験資格等の詳しい内容については、人事院HP又は先にお問い合わせください。

□問合せ先／人事院東北事務局 第二課 試験係 ☎022-221-2022
人事院HP
<http://www.jinji.go.jp/saiyo.htm>

「道路ふれあい月間」 標語募集

- テーマ／道路は国民共有の、つまりあなたの財産です(みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用しましょう)。
- 募集方法／はがきの場合(応募はがきまたは官製はがき一枚に、標語1点と氏名・住所・電話番号・性別・年齢・職業を記入のうえ郵送してください)。
- 送付先／〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目6番19号KKY溜池ビル3階 道路広報センター
- 平成18年度「道路ふれあい月間」推進標準

ご案内

上十三保健所三沢庁舎が平成18年3月31日で廃止されます

平成18年3月31日で上十三保健所三沢庁舎が廃止されることになりました。平成14年4月1日の組織改正に伴い十和田保健所と三沢保健所を「上十三保健所」としたところです。その際、保健予防課と生活衛生課は十和田庁舎に配置され、保健増進課は三沢庁舎に配置されました。

上十三保健所三沢庁舎では、「母子保健」「老人保健」「健康づくり対策」等の業務を行ってまいりました。

三沢庁舎でのこれまでの業務は、引き続き上十三保健所 十和田市西二番町10-15 ☎0242601で行いますので、平成18年4月1日以降のお問い合わせは右記にお願いいたします。

電気料金助成のご案内

平成17年10月1日～平成18年3月31日に支払った電気料金の一部を助成します。

○対象者／平成17年4月1日以後、六戸町に新規立地・増設し、電力契約を新設・増設し、かつ、雇用者が3名以上増加した企業・個人事業者
 ○締切／平成18年4月14日(金)（予定）

○問合せ先／青森県商工労働部 むつ小川原振興課 総務・地域振興グループ
 ☎0177-734-9737
 FAX0177-734-8213

設備貸与制度

(割賦・リース)のご案内

中小企業の公的な支援機関である(財)21あおもり産業総合支援センターでは、県内中小企業者の方の設備投資を応援するため、低利(割賦損料：年率1.0%、リース料：月額1.36%～2.95%)、長期(最長7年)の設備貸与制度(割賦・リース)を実施しております。

機械、装置、車両等(土地・建物は対象外です)の導入を検討されている方は下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

○問合せ先／(財)21あおもり産業総合支援センター
 ☎0177-775-3234

住民基本台帳カードは身分証明書としても便利

住民基本台帳カード(写真付ききカード)は公的な証明書としてさまざまな暮らしの場で活用できます。

○転入・転出届や戸籍の届出をするときに利用できます。

○全国どこでも自分の住民票の写しが取れます。

○運転免許証などと同様に、本人確認として活用できます。

○平成20年を目標に、公的個人認証サービスの電子証明書(住民基本台帳カード)を利用した、自動車の新規登録手続きが自宅のパソコンから行えるサービスが全国で始まります。

詳しくは、
<http://www.e-onestop.jp/gi/jw/>
 ください。

カードの交付手数料は500円です。

住民基本台帳カードは申請してからおよそ2週間程度かかります。申請書は町民課窓口にありますので、詳しくは、町民課 ☎3111 (内線122)までお問い合わせください。

戸籍の窓口

(1月届出分)

〽結婚

おめでとーございます

田中 達也 づめき団地
 平山 千尋 青森市

築場 隆博 七戸町
 田中 哉江子 小平・柳町

北山 玲子 小松ヶ丘
 梅津 子 北海道

高屋敷 雅樹 三戸郡三戸町
 米内山 由美 七戸

〽お誕生

おめでとーございます

小向 遥輝(優一) 二男(大曲)
 沖野 龍也(幸男) 二男(沖山)

保土沢日菜(均) 二女(鶴喰)

今出川愛海(恵紘) 二女(折茂)

田中愛乃音(城将) 長女(上町)

川村 拓哉(広志) 長男(南町)

類家 悠人(博志) 長男(古里)

〽逝去

おくやみ申し上げます

鳥越 仁太郎(73歳) 川原新田
 田中 良三(61歳) 鶴喰

金沢 與太郎(71歳) 金矢
 長根 末次郎(77歳) 岡沼

小平 政美(77歳) 小平・柳町
 古田 ミヨ(89歳) 堀切

大町 フミ(83歳) 高屋敷
 田中 リエ(93歳) 七戸

久田 元二(73歳) 高見・林・柴山
 石井 フミ子(83歳) たての台団地

沖澤 よんこ(86歳) 沖山
 富山 兼太郎(85歳) 高館

人口 10,912人 (15人減)
 男 5,306人 (14人減)
 女 5,606人 (1人減)
 世帯数 3,675世帯 (7世帯増)
 転入 24人 出生 6人
 転出 32人 死亡 13人
 平成18年1月末現在

おめでとう

お知らせ

「広報ろくのへ」の戸籍の窓口掲載欄は六戸町に住居登録のある方の出生・婚姻・死亡届出の際、掲載して良いか確認のうえ、掲載しております。

また、六戸町に住居登録がなく、当時に本籍があり、他市町村で届出された場合でも掲載をしてほしい方は、届出の翌月5日まで下記にご連絡ください。

なお、家族の方から申し出する場合は、ご本人からご確認のうえお願いいたします。

町民課 ☎55-3111 (内線121~123)

あなたも参加 わたしもやります “交通安全”

交通事故概況

(平成18年)

〈1月〉

青森県交通対策協議会

発生	県内	六戸町	累計	死者のうち	
				シートベルト	累計
703 [#] (-147)	9 [#] (-3)	703 [#] (-147)	0	2	
3 [^] (-2)	0 [^] (±0)	3 [^] (-2)	2	2	
908 [^] (-194)	13 [^] (-9)	908 [^] (-194)	0	0	

()内は対前年比



十和田警察署からのお知らせ

メイプルパトロール

～十和田警察署から地域の皆さんへ～

今月から『メイプル・パトロール』として、十和田警察署から地域の皆さんへの『お知らせ』を掲載させて頂くことになりました。宜しくお願いします。

また、地域の皆さんのご意見やご要望などを十和田警察署（☎23-3195）までお寄せください。

～児童連れ去り被害の防止～

昨年末から全国的に、児童連れ去り等の子供に対する凶悪事件が、相次いで発生しました。

十和田警察署では、子供を犯罪や事故から守るために、ボランティアの方々、学校関係者、PTA等の連携して、パトロールを強化しています。

更に、六戸町内では、子供達の下校時間帯に、各小学校の先生と駐在所が連携して、通学路の警戒活動を継続しております。

地域の皆さんも事件事故から守るため、登下校時間帯は外へ出て子供達を見守りましょう。

～スリップ事故多発～

雪が降り続けていますが、それに伴って、スリップによる交通事故が多発しています。

時速30km以下でも、スリップして衝突事故を起こした例があります。

- もう少し早めの出発
- もう少しゆとりを持った車間距離
- もう少し早めの減速・停止

を心掛け交通事故を防止しましょう。

小さな掛金・大きな補償 スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動などの団体に最適な保険です

団体	対象	加入区分	対象となる事故の範囲	掛金 (1人年額)	傷害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
					死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子どもの団体	・中学生以下の子ども ・スポーツ活動を行わない大人	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償1人1億円 1事故5億円 財物賠償1事故500万円 (各免責1,000円)	突然死 (急性心不全、 脳内出血など) 160万円
	・中学生以下の子ども	AW	団体活動中とその往復中	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償合算で1事故500万円を加算	対象となりません
			団体活動中とその往復中以外		100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償合算で1事故500万円(各免責1,000円)	
大人の団体	・子どもと一緒にスポーツを行う大人(指導者など)	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償1人1億円 1事故5億円 財物賠償1事故500万円 (各免責1,000円)	突然死 (急性心不全、 脳内出血など) 160万円
		C		1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	・大人の文化活動、ボランティア活動、地域活動(スポーツの指導、審判、ダンス、踊りなどを除く。)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償1人1億円 1事故5億円 (免責全額1,000円) 財物賠償1事故500万円 (各免責1,000円)	突然死 (急性心不全、 脳内出血など) 160万円
	・老人クラブなど(60歳以上)	B		800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	・大人のスポーツ活動(野外活動、身体運動を含む。)	C		1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	・危険度の高いスポーツ活動(アメリカンフットボール、山岳登山など)	D		9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

◎保険期間▶平成18年4月1日午前0時より平成19年3月31日午後12時まで▶

■問合せ先/財)スポーツ安全協会青森県支部 青森市安田字近野234-7 ☎017-782-6984

日	曜日	内 容	日	曜日	内 容
3月 			24	金	
1	水	中国語講座	25	土	
2	木	六戸・七百中学校卒業式	26	日	
3	金	2006座・楽団コンサート	27	月	
4	土	六戸町スポーツ少年団卓球大会	28	火	一般健康相談（老人福祉センター）
5	日	親子ふれあい映画鑑賞会 パパ・ママスクール（就業改善センター）	29	水	
6	月		30	木	
7	火	一般健康相談（老人福祉センター）	31	金	図書館臨時休館日
8	水	中国語講座（閉講式） エイズに関する相談（上十三保健所）	4月 		
9	木	六戸町生涯学習講演会 「義家弘介講演会」	1	土	
10	金		2	日	
11	土	メイプル童話会	3	月	
12	日		4	火	
13	月		5	水	
14	火	精神保健相談・女性健康相談（上十三保健所）	6	木	
15	水		7	金	町内小中学校入学式
16	木		8	土	
17	金	六戸小学校卒業式 4・12か月児健診（就業改善センター）	9	日	
18	土	開知小学校卒業式	10	月	
19	日		11	火	
20	月		12	水	
21	火	大曲小学校卒業式 春分の日	13	木	
22	水	折茂小学校卒業式 エイズに関する相談（上十三保健所）	14	金	
23	木	老人精神保健相談（上十三保健所）	15	土	

- ・ 体育施設休業日 毎週月曜日
- ・ 体育館一般開放日 土 曜 日（～16時45分）
- ・ 図書館休館日 毎週月曜日及び第3日曜日

- ・ 郷土資料館開館日 毎週日曜日及び第2・4土曜日（9時～16時30分）
- ・ ふれあい昭陽館開館日 毎週月、水、金曜日（8時～17時）
- ・ 旧苔米地家住宅開館日 毎週月曜日を除く毎日（9時～16時）
- ・ 文化ホール休館日 毎月第4月曜日

小松ヶ丘地域交流館 **完成**



ホール



実習室



会議室



和室



コミュニティ活動の場として『小松ヶ丘地域交流館』が完成しました。ぜひ学習や仲間とのふれあいの場としてご利用ください。

(開館は4月を予定しています。)

■問合せ先：六戸町教育委員会
社会教育課 ☎55-5511

「我が家のたから」
に掲載する
写真大募集!!

広報「ろくのへ」では我が家のたからコーナーに掲載するかわいい子供の写真を募集しています。掲載を希望される方は、下記までご連絡ください。町内在住の6歳以下の子供であればごなだでもよろしいです。

多数のご応募お待ちしております。

広報に関するご意見・ご要望は
総務課広報係 ☎0176-55-3111 内線214
E-mail k.yamauchi@town.rokunohe.aomori.jp

編集後記

2月もあっという間に過ぎ、いよいよ3月。私達にとっては、一年を締めくくる大切な年度末の到来です。

厳しかった冬の寒さも和らぎ、日中の暖かさにもうすぐ来る春が感じられますが、季節の変わり目ということもあり、周囲では風邪が流行していて、この大切な時期に体調を崩さぬようにと、気を引き締めています。

健康が一番、皆さん元気に暖かな春を迎えましょう。

我が家の



— 上 町 —

十字 翠ちゃん(5歳:左)
花ちゃん(3歳:右)

父 儀雄さん・母 弥生さん

「天真爛漫に育ってね!」(パパ・ママより)